



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月8日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	16,438	31.4	4,668	69.5	4,826	74.5	3,063	73.5
30年3月期第1四半期	12,511	72.2	2,753	35.1	2,766	32.8	1,765	29.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 344百万円(△92.7%) 30年3月期第1四半期 4,732百万円(524.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	31.82	—
30年3月期第1四半期	19.28	—

(注) 平成30年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成30年3月期第1四半期連結財務諸表について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	130,987	102,367	75.4
30年3月期	133,190	103,324	74.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 98,725百万円 30年3月期 99,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	17.00	—	19.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,300	29.1	8,300	30.9	8,400	35.1	5,400	45.8	56.10
通期	68,500	26.1	17,400	38.1	17,600	43.9	11,500	42.7	119.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期1Q	96,315,400株	30年3月期	96,315,400株
31年3月期1Q	52,193株	30年3月期	52,193株
31年3月期1Q	96,263,207株	30年3月期1Q	91,597,107株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 海外生産高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）における当社グループの事業環境は、受注動向については軟調な動きが見られたものの、製造業における生産性向上や省力化などを目的とした設備投資が堅調であったことに加え、高水準の受注残高にも支えられたことから、総じて良好に推移しました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが増加したことに加え、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどをはじめ主要用途全般が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比31.4%増加の164億38百万円となりました。

損益面につきましては、生産能力増強投資を実施したことにより減価償却費が増加したことに加え、製造部門をはじめとする人員増などにより製造費用や販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、営業利益は前年同期比69.5%増加の46億68百万円となりました。また、主に営業利益の増益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比73.5%増加の30億63百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比35.2%増加の138億1百万円、メカトロニクス製品が同14.5%増加の26億37百万円で、売上高比率はそれぞれ、84.0%、16.0%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

産業用ロボット向けをはじめ、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどの主要用途全般が増加し、売上高は前年同期比37.9%増加の109億16百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は前年同期比61.9%増加の44億88百万円となりました。

(北米)

医療機器向け、半導体製造装置向け、工作機械向けを中心に需要が増加したことにより、売上高は前年同期比18.6%増加の15億43百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、前年同期比16.5%増加の2億57百万円となりました。

(欧州)

主に産業用ロボット向け、半導体製造装置向けの需要が増加したことなどから、売上高は前年同期比20.8%増加の39億78百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は前年同期比78.2%増加の6億45百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて22億3百万円減少（前連結会計年度末比1.7%減）し、1,309億87百万円となりました。これは、売上高の増加により、受取手形及び売掛金が19億61百万円増加（前連結会計年度末比12.4%増）したことに加え、設備投資の実行により有形固定資産が31億91百万円増加（前連結会計年度末比15.0%増）した一方で、配当金の支払い、法人税の支払いなどにより現金及び預金が41億4百万円減少（前連結会計年度末比13.9%減）したことや、保有する上場株式の時価変動などにより投資その他の資産が24億62百万円減少（前連結会計年度末比15.6%減）したことが主な要因です。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて12億45百万円減少（前連結会計年度末比4.2%減）し、286億19百万円となりました。これは、未払法人税等が20億94百万円減少（前連結会計年度末比64.4%減）したこと、繰延税金負債が7億7百万円減少（前連結会計年度末比5.9%減）したことが主な要因です。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて9億57百万円減少（前連結会計年度末比0.9%減）し、1,023億67百万円となりました。これは、利益剰余金が17億15百万円増加（前連結会計年度末比3.3%増）した一方で、その他有価証券差額金が16億91百万円減少（前連結会計年度末比21.3%減）したことや、為替換算調整勘定が9億66百万円減少（前連結会計年度末比38.5%減）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の74.8%から75.4%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表しました「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値に変更はありません。今後、変更が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,423,941	25,319,857
受取手形及び売掛金	15,816,588	17,778,452
有価証券	40,929	28,318
商品及び製品	1,196,363	1,277,978
仕掛品	2,927,793	3,133,317
原材料及び貯蔵品	2,363,942	2,564,942
その他	740,696	857,160
貸倒引当金	△11,037	△12,772
流動資産合計	52,499,217	50,947,254
固定資産		
有形固定資産	21,306,373	24,497,430
無形固定資産		
のれん	13,153,263	12,720,629
ソフトウェア	286,474	323,559
顧客関係資産	23,691,533	22,912,278
技術資産	6,327,661	6,119,534
その他	123,313	126,813
無形固定資産合計	43,582,246	42,202,815
投資その他の資産		
投資有価証券	761,689	597,051
関係会社株式	13,571,462	11,305,047
退職給付に係る資産	1,047,271	1,056,726
繰延税金資産	267,729	231,319
その他	159,793	155,111
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	15,802,345	13,339,656
固定資産合計	80,690,966	80,039,902
資産合計	133,190,183	130,987,156
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162,055	3,447,113
短期借入金	57,056	25,740
1年内返済予定の長期借入金	352,164	367,106
リース債務	48,785	50,475
未払法人税等	3,253,567	1,158,923
賞与引当金	1,433,246	780,150
役員賞与引当金	415,638	231,579
製品補償損失引当金	92,806	80,174
その他	4,364,706	6,539,638
流動負債合計	13,180,028	12,680,903
固定負債		
長期借入金	1,529,366	1,546,975
リース債務	181,379	182,458
繰延税金負債	12,079,324	11,372,266
役員退職慰労引当金	400,375	410,014
その他の引当金	91,877	97,186
退職給付に係る負債	907,720	881,325
その他	1,495,309	1,448,505
固定負債合計	16,685,352	15,938,731
負債合計	29,865,380	28,619,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,225,361	30,225,361
利益剰余金	51,928,676	53,644,207
自己株式	△38,166	△38,166
株主資本合計	89,215,907	90,931,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,953,429	6,261,929
為替換算調整勘定	2,508,363	1,542,225
退職給付に係る調整累計額	△13,118	△10,501
その他の包括利益累計額合計	10,448,675	7,793,653
新株予約権	625,511	625,511
非支配株主持分	3,034,708	3,016,917
純資産合計	103,324,802	102,367,521
負債純資産合計	133,190,183	130,987,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	12,511,900	16,438,835
売上原価	6,609,699	8,491,583
売上総利益	5,902,200	7,947,251
販売費及び一般管理費	3,148,649	3,279,210
営業利益	2,753,550	4,668,040
営業外収益		
受取利息	4,144	4,656
受取配当金	995	1,315
持分法による投資利益	9,643	2,760
為替差益	9,976	105,037
その他	39,446	71,385
営業外収益合計	64,208	185,153
営業外費用		
支払利息	11,360	2,313
売上割引	12,708	7,610
有価証券評価損	—	11,503
その他	27,649	4,799
営業外費用合計	51,718	26,226
経常利益	2,766,040	4,826,968
特別利益		
固定資産売却益	1,354	15,834
補助金収入	100,000	—
特別利益合計	101,354	15,834
特別損失		
固定資産売却損	—	60,453
固定資産除却損	2,090	11,495
固定資産圧縮損	100,000	—
特別損失合計	102,090	71,948
税金等調整前四半期純利益	2,765,304	4,770,854
法人税、住民税及び事業税	866,357	1,190,988
法人税等調整額	41,441	252,988
法人税等合計	907,799	1,443,977
四半期純利益	1,857,504	3,326,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	91,780	263,661
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,765,723	3,063,215

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,857,504	3,326,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	766,527	△1,691,500
為替換算調整勘定	2,108,456	△1,293,320
退職給付に係る調整額	△194	2,510
その他の包括利益合計	2,874,790	△2,982,309
四半期包括利益	4,732,295	344,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,358,450	408,194
非支配株主に係る四半期包括利益	373,844	△63,627

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,916,388	1,301,264	3,294,247	12,511,900	—	12,511,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	922,878	6,079	14,114	943,072	△943,072	—
計	8,839,266	1,307,344	3,308,361	13,454,973	△943,072	12,511,900
セグメント利益	2,771,969	221,114	362,285	3,355,368	△589,328	2,766,040

- (注) 1. セグメント利益の調整額△589,328千円には、セグメント間取引消去△455,408千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,919千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用会社で構成されておりましたハーモニック・ドライブ・アークが平成29年3月22日付で連結子会社となったため、当第1四半期連結累計期間から同社に係る売上高及び利益を記載しております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
5. セグメント利益は、平成30年3月期末に企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映させております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,916,836	1,543,803	3,978,190	16,438,835	—	16,438,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,328,228	14,093	94,733	1,437,055	△1,437,055	—
計	12,245,064	1,557,902	4,072,924	17,875,890	△1,437,055	16,438,835
セグメント利益	4,488,714	257,553	645,756	5,392,024	△565,056	4,826,968

- (注) 1. セグメント利益の調整額△565,056千円には、セグメント間取引消去△132,936千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△432,119千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	11,120,789	47.4
	メカトロニクス製品	1,536,439	15.1
北米	減速装置	697,067	17.7
	メカトロニクス製品	436,223	69.1
欧州	減速装置	2,266,708	10.8
	メカトロニクス製品	618,210	△20.9
合 計		16,675,438	32.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	8,298,783	△36.7	29,715,109	99.5
	メカトロニクス製品	1,226,865	△13.1	2,063,736	41.7
北米	減速装置	1,124,546	22.4	2,499,985	111.2
	メカトロニクス製品	742,603	△5.8	1,294,866	75.8
欧州	減速装置	3,181,545	9.5	4,477,018	74.4
	メカトロニクス製品	1,513,242	81.9	2,318,277	221.5
合 計		16,087,587	△19.4	42,368,995	96.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。
 6. 受注残高は、当第1四半期において日本セグメントを中心に発生した前四半期以前の受注分に係る1,337,741千円の受注取り消し額を差し引いております。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年6月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	9,811,211	39.8
	メカトロニクス製品	1,082,943	12.7
北米	減速装置	877,534	12.1
	メカトロニクス製品	680,367	29.6
欧州	減速装置	3,112,438	29.4
	メカトロニクス製品	874,339	6.8
合 計		16,438,835	31.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年6月30日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,978,190	1,543,808	2,102,950	7,624,949
II 連結売上高(千円)	—	—	—	16,438,835
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	24.2	9.4	12.8	46.4

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……ドイツ
 (2) 北米……米国
 (3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。